

お盆が過ぎれば涼くなる・・・は昔のこと!気温37度にも驚かなくなった今日この頃ですが、暑い日が続きますので体調管理に気をつけましょう!

今回は、母子保健専門研修会Ⅰ、大雨による災害の被災者に係る妊婦健康診査等の各種母子保健サービスの取扱いなどについてお伝えします。

長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ



・・・令和6年度母子保健専門研修会Ⅰを開催しました（7月6日）・・・

シンポジウム・フロアディスカッション

テーマ 「周産期メンタルヘルス支援体制の構築を考える-長野県の周産期看護を繋ぐために-」

- 座長 信州大学医学部保健学科 教授 中込 さと子 氏
- 助言者 信州大学医学部周産期こころの医学講座 講師 村上 寛 氏
- シッポジスト 信州母子保健推進センター 母子保健推進員 森谷 妙子 氏
- 長野県助産師会 会長 鹿野 恵美 氏
- 信州大学医学部附属病院 助産師 藤井 恵美子 氏
- 中野市役所福祉課 課長 池田 純子 氏

参加者数	118名
アンケート回答率	48.5%
研修会の満足度	75.5%
研修会の理解度	63.3%

講義1

内容 「母子保健の現場で相手の気持ちに寄り添うためのスキル」
講師 信州大学医学部保健学科 教授 中込 さと子 氏

講義2

内容 「周産期メンタルヘルスにおける最重症症例から考える多職種支援」
講師 信州大学医学部周産期こころの医学講座 講師 村上 寛 氏

グループディスカッション

テーマ 「各地区で課題や困りごとを出し合い、これから工夫できることを挙げてみよう」



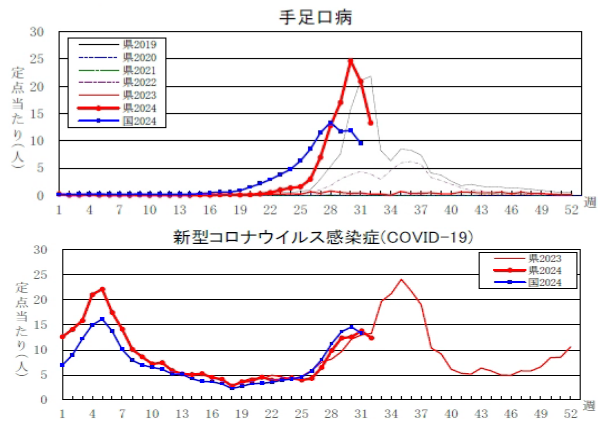
今回は長野県看護協会と長野県助産師会、長野県の共催研修でした。シンポジウムではそれぞれの立場から、産後メンタルヘルスに関する取り組みや課題についての発表があり、グループディスカッションでは、参加者が日頃感じている思いや困難点などについて、意見交換や情報共有することができ有意義な研修となりました。

情報提供 最近の長野県の感染症の状況について

長野県では手足口病が6月下旬から急増していましたが、32週(8/5~8/11)では2週続けて減少しました。

新型コロナウイルス感染症は、先週から減少しました。昨年はお盆休みの人の移動とともに、再び35週(8/28~9/3)まで増加していました。今後も増加する可能性がありますので、感染症対策を引き続き行いましょう。

感染状況については、長野県ホームページ「長野県感染情報」で随時確認していただき、地域への広報に活用してください。



情報提供 子育て支援アプリ「のびのびトイロ」について(7月12日付けメール配信)

信州大学医学部子どものこころの発達医学教室から、令和3年公開された「TOIRO」ですが、この度名称が「のびのびトイロ」に変更になりました。

母子健康手帳の交付時や乳幼児健診の際に周知するとともに、健診会場や他の施設等に掲示されたポスター等の張替えについて御協力をお願いします。



センターからのお知らせ

母子保健技術研修会Ⅱの開催予定について

日程・会場 令和6年10月22日(火) 長野県安曇野庁舎(集合研修)
テーマ 「母子保健事業における乳幼児健診の精度管理と評価」
※ 詳細については、後日配信します。

…新生児聴覚検査費に係る受検者の経済的負担の軽減について…

新生児聴覚検査費に係る受検者の経済的負担の軽減について、全ての新生児を対象に積極的に取り組むよう事務連絡がありました。(7月26日付け調査・照会システムから自動配信) 長野県内の公費負担の実施状況は右表のとおりです。

公費負担を行う75市町村のうち、助成内容は「初回検査のみ」が48市町村、「初回検査及び確認検査の2回」が27市町村です。

	実施している市町村数
R 4.4.1	31
R 5.4.1	71
R 6.4.1	75

…大雨による災害の被災者に係る妊婦健康診査等の各種母子保健サービスの取扱いについて…

大雨による災害の被災者に係る妊婦健康診査等の各種母子保健サービスの取扱い等について事務連絡がありました。(7月25日付けこども家庭庁成育局母子保健課よりメール配信)

8月8日には気象庁から南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されました。現在は注意の呼びかけが終了となりましたが、県内の「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されている34市町村や他の地域においても大きな揺れがある危険性がありますので、有事の際にスムーズな対応ができるよう、関係者と情報共有し体制を整えましょう。

	内 容
妊婦健康診査等の各種母子保健サービスの取扱いについて	災害救助法の適応を受けた地域から、妊婦健康診査受診券を持たずに避難してきた妊婦から申し出があった場合には、妊婦健康診査が受診できるよう、 避難先自治体から妊婦健康診査受診券を交付 すること、乳幼児健康診査についてもそれに準じた対応の配慮をお願いしたい
災害により被災した妊産婦及び乳幼児等に対する支援のポイントについて(別紙資料配信)	「避難所等で生活する妊産婦及び乳幼児に対する支援のポイント」 「被災した子どもたちへの支援の留意点」 専門的な支援にあたる保健師・助産師・管理栄養士等が、健康管理に配慮した相談支援を行う際の支援に関するポイントについて共有する
災害時の母子保健対策に関するマニュアル等について(情報提供)	災害対応のための情報(こども家庭庁HP) https://sukoyaka21.cfa.go.jp/useful-tools/saigai/ ・災害時妊産婦情報共有マニュアル(保健・医療従事者向け) ・妊産婦を守る情報共有マニュアル(一般・避難所運営向け) ホームページに掲載されているので、支援を行う際の参考となるよう活用する
被災者支援にあたって参考となるホームページ(情報提供)	○内閣府HP ・災害対応能力を強化する女性の視点 ～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～ https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/pdf/guidelene_01.pdf ・授乳アセスメントシート①～③ https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/pdf/guidelene_10.pdf ○国立成育医療センターHP ・子どもの心の診療ネットワーク事業>災害と子どもの心 https://www.ncchd.go.jp/kokoro/ ○国立健康・栄養研究所HP ・災害時の健康・栄養について https://www.nibiohn.go.jp/eiken/info/info_saigai.html ・赤ちゃん、妊婦・授乳婦の方へ https://www.nibiohn.go.jp/eiken/info/pdf/boshi.pdf



お読みいただいたご感想・ご意見をお寄せください。よろしくお願いいたします。

担当圏域	母子保健推進員	連絡先
佐久・上田・長野・北信	森谷 妙子	長野県庁 保健・疾病対策課 026-235-7141(直通電話)
諏訪・伊那・飯田・木曾・松本・大北	嶋田 マユミ	